

富士見中学校 開校10周年式典

11月30日に富士見中学校で開校10周年の記念式典と合唱祭、講演会が行われ、歴代の校長先生や同窓生でつくる白鈴会の方々、学校を支える地域の方々を招き、10周年の節目を祝いました。

記念式典では、生徒たちに郷土を愛する心を育ててほしいとの願いから、記念事業として全校生徒が制作した「富士見に生きて」の大型額を披露しました。富士見町ゆかりの詩人、尾崎喜八氏の詩から直筆の題字を写し、生徒たち全員で木曾ヒ



ノキの銘木板に彫刻刀で丁寧に手彫りしました。

合唱祭では、毎日練習して仲間と共に創り上げた合唱を各クラス・学年ごとに発表し、美しい歌声を体育館に響かせました。

講演会では、大先輩である瀬沢新田の雨宮 勇さんから、夢を持ち実現に向けて行動すること、コミュニケーションの大切さ、人のため世の中のためを考えることについて学びました。

富士見町
教育委員会だより
第169号

「教育のまち・子育てのまち」を目標として

令和2年1月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

1月
定例教育委員会
1月8日(水)
午前9時30分～
役場2階 教育長応接室
傍聴歓迎

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分
～午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

1月19日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日

新元号「令和」
になって初めて
のお正月です。
新年の目標を
立て、3学期も
元気に頑張りま
しょう。



おとなのための キッズプログラミング

令和2年度から小学校でプログラミング教育が始まります
それに先立って、こどもたちがどんなことを学ぶのか
おとなたちだけで、夜、小学校に集まり
こっそり体験してみませんか？
各小学校で3回ずつの開催です

24時間受け付けています
☎050-3188-0223
お早めにお申し込みください



富士見小：2020.1.15(水), 2.12(水), 3.6(金)
本郷小：1.23(木), 2.5(水), 3.12(木)
境小：1.31(金), 2.21(金), 3.4(水)

対象：富士見町在住で小中学生以下の保護者の方
会場：各小学校のパソコン室
時間：いずれも19:00～21:00
参加費：無料
定員：各回10名(先着・事前申込必要)

詳しくは <https://fujimi.ict.club/otonakids>

主催：富士見町ICTクラブ / 共催：富士見町教育委員会



おとなのためのキッズプログラミング参加者大募集中

町教育委員会では、来年度から小学校へ導入される「プログラミング教育」に先駆け、おとなたちだけでプログラミングを体験できる事業を行います。参加申し込み等は左記のチラシをご覧ください。

問 富士見町教育委員会 子ども課 総務学校教育係 ☎62-9235

令和2年度 児童クラブ入所申請を受け付けます

来年度、児童クラブの入所を希望される方は申請書・就労証明書にご記入の上、期限までに提出してください。

令和2年度の申請書は各児童クラブには配置してありませんので、下記①までお越しいただき、お受け取りください。

また、提出については学校・保育園への提出はできませんのでお間違えの無いようお願いいたします。ただし、継続利用される方のみ、現在利用中の児童クラブへの提出が可能です。ご不明な点につきましては、お問い合わせください。



- 書類提出期限 1月31日(金)まで
- 提出先 ①子ども課 子ども支援係(役場2階①番窓口) 午前8時30分～午後5時15分
②継続利用の方のみ、各児童クラブ

☎ 富士見町教育委員会 子ども課 子ども支援係 ☎62-9237

はじめの一歩 Part ⑨

スペシャルタイム

先日の乳幼児健診の時、あるお母さんから「毎日忙しくて、なかなか遊んであげられない。夜、寝付いた時に反省し、どおんと落ち込むんです・・・どうやって、遊んであげたらいいのか分からない・・・」等の話が聞かれました。お父さん、お母さんはお仕事と子育て、本当に忙しい毎日だと思います。そんな中、エネルギーのあるお子さんと、どんなふうに遊んでいますか。



お子さんと遊ぶのに、結果として子どもが、「一緒に遊んで楽しかった。僕のこと、私のことを受け入れてもらっている」と感じる事が大事です。「よし、一緒に遊んであげよう！」と張り切ってままごと遊びを始めたものの、

命令・・・「ここに、りんごのせて」「こんな風に盛り付けしたら？」

質問・・・「何、作ったの?」「食べる時はなんていうの?」

禁止・・・「ダメ、そんなことしちゃ!」「机の上のにらないで!」

お子さんへの教育的な願いが、「命令」「質問」「禁止」のことばになり、これでは、楽しさを共有できませんね。

そこで、**スペシャルタイム**と位置づけての遊び方を紹介します。一日の中で、3～5分間スペシャルタイムを作り、お子さんと遊んでみましょう。お子さんに向けてのことばは、下記の3通りです。余計な事は言わない方が、お子さんも大人も満足度が増すと思います。

- ・子どもの発した言葉を繰り返す・・・子「おいしいよ」大人「ほんとだ、おいしいね」
- ・行動をことばにする・・・「○○ちゃんがコップを並べています」 実況中継
- ・具体的にほめる・・・「すごい!」などの一般的なほめ言葉もうれしいものですが、具体的に「おもちゃをかたづけられて、えらいね」等

一日中、このような遊び方、やりとりはなかなか難しいですが、スペシャルタイムとして、意識して遊んでみてはいかがでしょうか。始めに時間を決めて、終了時間になった時に「はい、今日のスペシャルタイムは終了です～。また、明日ね～」と声をかけ、終わりにするのも良いかもしれませんね。子どもと大人との温かい関係を築くためのプログラムの一つです。

子ども課ではこのように子どもと関わるスキルとして、乳幼児家庭教育学級を2月に開催しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

(家庭・子育て相談員 佐久近子)

